

2024.4.22  
No.65

UNIRITA ユーザ会ホームページ  
<https://www.uniritauser.jp/>



UNIRITA Users' Group

# ユニリタ ユーザ会 ニュース

## CONTENTS

- 02 第40回UNIRITAユーザシンポジウム「開催報告」
- 04 「表彰結果報告」と「事例発表紹介」
- 06 シンポジウムハイライト
- 08 2024年度 研究テーマ及び研究概要一覧
- 10 UNIRITAユーザ会の主な活動内容/年間スケジュール
- 11 役員・代表の紹介
- 12 2024年度メンバ募集について





祝!  
第40回!

2024年3月7日～9日  
ヒルトン福岡シーホーク



## UNIRITA ユーザシンポジウム開催報告

第40回UNIRITAユーザシンポジウムを開催しました。今年度は完全リアルで開催することができました。また、第40回という節目の開催ということもあり、シンポジウムの原点である「学ぶ」をテーマとし、様々な講演やイベントを用意させていただきました。

会場には全国から141社454名（ユニリタグループ含む）と多くの方にご参加いただきました。

ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。

UNIRITAユーザ会定時総会は、ユーザシンポジウムに合わせてあらかじめWeb総会として開催し、各会員企業様の登録代表者の皆さまにご投票をお願いしました。皆さまのご協力のおかげで無事議案が承認されましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。



シンポジウム1日目のプログラムを例年とは変更し、第40回を記念した記念講演を開催し、「学ぶ」をテーマに企画した学びセッション、総会報告の他、ユニリタ北野社長からご挨拶をいただきました。

会場には株式会社ロッテ様、カンロ株式会社様からたくさんのお菓子をご提供いただき、セッションの合間に多くのお客様が喜んで手にされていました。

情報交換会では、第40回を記念した鏡開きを行いました。今年1月に発生した能登半島地震の復旧復興支援のお力添えをできればということで、復興支援酒を使わせていただきました。また、ご参加者が参加できるクイズ企画を用意し、当選した方への景品に能登の特産品を提供させていただきました。さらに、皆様のコミュニケーションの促進を図ればという思いから、デジタル名刺を活用させていただきました。多くの方が活発にコミュニケーションを取られていました。

2日目はメインイベントである25グループの研究発表が行われ、マネージャ層の研究グループによる発表およびマネジメント

セッションも開催されました。研究発表については聴講者の投票によって評点が決まることもあり、発表者は緊張の面持ちで1年間の研究活動の集大成を発表しました。

40回記念講演、ランチ講演、マネジメントセッションでは、ご活躍されている方々に講演いただきました。（右ページをご覧ください）

表彰式では、事例発表いただいた方々への記念品の贈呈や研究発表の表彰式が華々しく行われました。

今年度の最優秀活動賞は「IE03:Web 3.0をビジネスで活かすには」研究グループが受賞されました。他、優秀活動賞には3グループ、審査員特別賞には2グループの計6グループが入賞する結果となりました。（詳細はP.4-5をご参照ください。）

今回も多くの方にご参加いただき、盛況のうちに終了することができました。

これもひとえにご参加いただいた多くのお客様と、多くのお力添えをいただいたパートナー様、事例発表企業様、協賛企業様のおかげです。本当にありがとうございました。



## 第40回UNIRITAユーザシンポジウム

### 40回記念講演

#### 日本未来図 2030 ～バックカスティングで考える～

私たちは、生活する中で多くの情報をニュースやSNSを通じて理解していますが、間違っ  
た思い込みや判断をしている危険性について取り上げられ、間違わないためには、統計数字（FACT  
データ）からわかる真実を見極める大切さが強

く強調されていました。2030年の日本の姿を想像し、バックカスティングで考えるために、  
今から行動変革とより良き未来へ進むための準備が必要であるとお話をいただきました。



藻谷 浩介氏  
株式会社日本総合研究所  
主席研究員

### ランチ講演

#### 相手の思いを引き出し言葉にするコミュニケーション力を育て地域を元気に!!

NHK番組『小さな旅』の旅レポーターとして旅先での人と人との出会いを大切にされてきた経験から、自分が伝えたいことを「言葉にする」大切さを知り、その必要性を強く強調されてい

ました。また、相手の思いを引き出し言葉にするためには、「言葉にする」ことを心掛け、伝えたいことを「言葉にする」ための具体的な取り組みや会話のテクニックをお話いただきました。



山本 哲也 氏  
フリーアナウンサー

### マネジメントセッション

#### メタバース、Web3の未来 ～IT業界における近代の流れから、どのような未来に繋がる可能性があるのか～

これからの日本のITを知り、私たち一人一人が行動変革を起こすためのきっかけとなる講演が進められました。  
これまでのITの歴史や変遷からわかりやすい説明と質疑応答を交えながら知識を再確認する工

夫がされていました。  
特に聞くだけではなく、実際にメタバース空間を触り、体験することで、今後現実になるメタバース、Web3の未来について、参加された企業におけるIT活用の可能性を学ぶことができました。



山崎 浩一氏  
Vma plus 株式会社  
執行役員 CSO



第41回UNIRITAユーザシンポジウムは2025年3月に開催予定です。プログラム等の詳細は12月頃に公開いたします。次回も多くの皆さまの積極的なご参加を心よりお待ちしております。

# 第40回UNIRITAユーザシンポジウム 表彰結果報告

## 研究グループ活動賞

### 最優秀活動賞

東日本情報活用研究部会

#### IE03: Web3.0をビジネスで活かすには WEB3 IS COMING はじめの一步を踏み出すガイド



中尾 祐生 [旭化成アミダス株式会社] ★  
濱田 憲明 [リコージャパン株式会社]   
 召田 幸也 [エスアイエス・テクノサービス株式会社]   
 鈴木 康太 [出光興産株式会社]   
 太田 大貴 [株式会社匠BusinessPlace]   
 武知 士門 [リコーITソリューションズ株式会社]   
 渡邊 雄貴 [株式会社ユニリタ]   
 張 至杰 [株式会社ユニリタ]

**受賞コメント** 1年間、理解が難しいトレンドキーワードを研究会メンバー全員で研究し、魅力や将来性が伝わるようWEB3に向き合った結果、最優秀賞をもらえて本当に嬉しいです。これからもWEB3の楽しさを伝えていきます。

**印象に残ったこと** DAO構築を通じ、私たち自身もWEB3への興味と理解が深まった1年でした。合宿の境に熱意も高まり、不安や挫折もありながらも挑戦の連続で突き進んだことです。パーカー着用の研究発表まで一体感がありました。

東日本システム運用研究部会

### 優秀活動賞

#### OE03: SDGs テックを用いたIT部門の社会貢献 あなたが起こすSDG's 革命 ～IT企業が新上五島町と実践してみた～



有浦 直宏 [SOMPOシステムズ株式会社]   
 西迫 隆 [NSW株式会社]   
 花園 翔太 [株式会社アイネット]   
 米澤 萌花 [TIS株式会社]   
 福重 裕菜 [リコージャパン株式会社]   
 沼田 竜弥 [第一生命情報システム株式会社]   
 野口 杏子 [第一生命情報システム株式会社]   
 西川 真弥 [株式会社ユニリタ]   
 高林 守 [株式会社ユニリタ]

**受賞コメント** 優秀活動賞をいただき大変光栄です。長崎県新上五島町の皆様のご協力のもとワークショップや提案活動等を実施することで、リアルでかつ中身の濃い研究および発表ができ、多種多様な「学び」を得ることができました。

東日本情報活用研究部会

### 優秀活動賞

#### IE10: 属人化を解消する技能伝承とリスクリテラシー 未来のナレッジシェア ～AIが導くシステム人材の属人化の解消～



會田 芽以 [株式会社システムフロンティア]   
 米澤 渉 [株式会社NSP]   
 山田 和平 [東洋熱工業株式会社]   
 岩間 悠莉 [株式会社エムアンドシーシステム]   
 石澤 恵佑 [株式会社JSP]   
 平岡 岳 [株式会社リンクレア]   
 山下 澗平 [株式会社ユニリタ]   
 山本 真義 [株式会社ユニリタ]

**受賞コメント** チーム一丸となって、属人化問題に一石を投じることができ、更には優秀活動賞を頂けたことを嬉しく思います！

西日本合同研究部会

### 優秀活動賞

#### GW03: 職場の心理的安全性を高めるコミュニケーション技術 心理的安全性を高める8大タイトル ～フレームワークで八冠挑戦～



松岡 優太 [株式会社KYOSO]   
 湯徳 弘晃 [コベルコシステム株式会社]   
 川西 慧 [日本精線株式会社]   
 米田 美和子 [ニッセイ情報テクノロジー株式会社]   
 関谷 佑美 [ユニチカ株式会社]   
 坂本 和正 [株式会社K-BIT]   
 武田 朋也 [旭化成株式会社]   
 黒田 浩子 [株式会社ユニリタプラス]   
 正村 椋介 [株式会社ユニリタプラス]

**受賞コメント** 優秀活動賞の受賞！チーム全員の努力とユーモアが実りました！最優秀賞は逃しましたが、メンバの心理的安全性が高まり、これぞ真の勝利。応援して下さった皆様に心から感謝いたします。ユーモア最強！

※掲載情報は受賞時点でのものとなります。

★ リーダ ○ サブリーダー 👤 発表者

九州情報活用システム運用研究部会

審査員特別賞

**IKOK01:メタバース活用で変わる業務**  
**うちのオフィスに来てみんなしゃい!**  
～ゲーム感覚で会社訪問!??～



井上 大輔 [株式会社インフォセンス] 松岡 征矢 [西鉄情報システム株式会社]  
中村 遼人 [株式会社インフォセンス] ★ 阿部 尚輝 [株式会社リンクレア] ○  
田中 良明 [西鉄情報システム株式会社] 馬込 秀紀 [株式会社ユニタプラス]  
平島 歌鈴 [西鉄情報システム株式会社] 👤 石崎 毅 [株式会社ユニタプラス]

**受賞コメント** 約一年間、チームで取り組んだメタバースの研究が審査員特別賞という形で実を結び、嬉しい限りです。私たちの発表をご清聴いただいたこと、そして評価していただいたことに感謝申し上げます。

東日本情報活用研究部会

審査員特別賞

**IE08:データファブリックの必要性**  
**未知の業務課題もこれでOK!?**  
～データファブリックが織りなす新しい未来～



田中 裕二 [カシオ計算機株式会社] ○ 👤 今井 諒 [コニカミノルタ株式会社]  
伊藤 楓馬 [YKK AP株式会社] ★ 👤 石山 綾乃 [株式会社ユニタ]  
南地 浩平 [株式会社システムフロンティア] 鈴木 雄介 [株式会社ユニタ]

**受賞コメント** 入賞できたこと、大変嬉しく思います。少ないメンバで団結して取り組んで来ましたが、その中で各自がそれぞれの学びを得て「旅立つ」ことができました。発表をご清聴頂いた皆様、ありがとうございました!

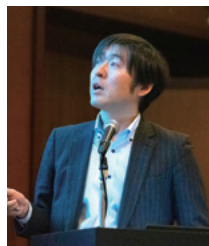
※掲載情報は受賞時点でのものとなります。

## 事例発表紹介

リコージャパン株式会社  
稲葉 洋 様

製品名:Growwwing

**デジタルサービス企業への  
変革に向けた挑戦**  
～攻めのカスタマー  
サクセス体制の構築事例～



東京海上ディーアール株式会社  
佐竹 祐哉 様

製品名:CommuRing

**企業間コミュニケーションで  
BCPの実効性を高める  
クラウドサービス Chainable**



日本機械工業株式会社  
金築 律夫 様

製品名:まるっと帳票  
クラウドサービス

**DXをユニリタに  
まるっとお任せ!**



地方独立行政法人 長野市民病院  
高野 与志哉 様

製品名:Waha! Transformer

**看護の未来を少し素敵に♪  
生成AIが描く、  
効率とセキュリティのハーモニー**



第40回 UNIRITAユーザシンポジウムの様子をお伝えします！ /

# シンポジウムハイライト



01

## 会場到着

今年は交通機関の乱れが一部ありましたが、唐人町駅から送迎バスで移動して、無事ヒルトン福岡シーホークに到着！  
会場は福岡 PayPay ドームのすぐ隣です。



02

## 全体会

受付ではチケットのQRコードでチェックイン。後藤会長のご挨拶でシンポジウムがスタートしました。今年はコロナ前の規模に戻り、450名以上のご参加となりました。



03

## パートナーセッション・事例発表・マネジメントセッション

1日目はパートナーセッションは3社、事例発表は4社に登壇いただきました。また2日目にはマネジメントセッションを開催しました。貴重な発表内容を参加者の皆様が真剣な表情で聴講されていました。



04

## 情報交換会

情報交換会では、ご参加いただいている皆様の出身地エリア別にテーブルをご用意し、お客様同士の情報交換を行っていただきました。  
お客様からも「初めてお会いする方々とお話できて良かった」というようなお声をいただきました。また、研究部会代表からは、研究メンバの心に響くような熱いメッセージが送られました。  
情報交換会は盛大に終わることができました。



05

## 研究発表

1年間の研究活動の集大成となる研究発表です。会場全体にははりつめた緊張感の中で、これまで発表練習を重ねてきた各研究グループの発表者が、研究内容や研究に対する熱い思いを表現しました。発表を終えた研究メンバ全員のほっとした顔が印象的でした。

# 06



## 講演会

1日目、2日目とも、ゲストをお招きし、講演会を開催しました。どの講演も、たくさんの「学び」が生まれ、大変貴重な時間となりました。この機会の学びを是非今後活かしてもらえらたと思います。



# 07 表彰式

研究発表を終えて、結果を待つ緊張感を持ちつつ、美味しい料理をいただきました。早見優さんのショーでは、会場全体が盛り上がりました。

IE03 研究グループが最優秀活動賞を受賞し、早見優さんからお花の贈呈がありました。おめでとうございます!!

## 第40回 記念イベント

「学び」をテーマにした4つのセッションや、これまでのユーザシンポジウムの振り返りの動画上映、40回記念ノベルティ(タンブラー)の贈呈や、40回記念ボードの設置など、様々な企画を実施しました。



株式会社匠BusinessPlace  
萩本 順三 氏



株式会社農情人  
甲斐 雄一郎 氏



株式会社データ総研  
伊藤 洋一 氏



株式会社ビーエスピーソリューションズ  
鈴木 智裕 氏



表彰式後、最優秀活動賞を受賞した東日本情報活用研究部会

IE03「Web3.0をビジネスで活かすには」の研究グループの皆さんに早速受賞インタビューをしました!

**Q.** 勝因は何でしたか?

**A.** 初めから結果を出したいと思っていました。グループ一丸となって一年活動できたことが結果につながったと思います。

**Q.** チームビルディングは成功しましたか?

**A.** 初めはどこまで言っているのか遠慮がありましたが、夏合宿をきっかけに各自の気持ちを遠慮なく伝えられるようになりました。積極的に取り組む気持ちがあるメンバが集まり、最高のグループになりました!

**Q.** コーディネータはどのような働きかけをしてくれましたか?

**A.** Web3.0というテーマで前例のないこともあったのでいろいろ確認事項が多く大変だったと思うが、即確認して即レスしてくれて、次の作戦が立てられありがたかったです。

**Q.** 来年参加される方へのメッセージをお願いします。

**A.** 同じテーマに取り組む意思のあるメンバがせっかく集まる機会ですので、是非この機会を有効活用してほしいです。回を重ねるごとにグループの一体感を感じるはずですよ。



## 研究テーマおよび研究概要一覧

UNIRITA ユーザ会では今年度も活発に研究部会活動を行っていただくべく、研究グループメンバーの募集を行います。地域ごとに旬なテーマをご用意して会員企業様のご参加をお待ちしております。

お申し込みはこちら



https://  
www.uniritauser.jp/  
group-apply/

## 東日本地区

情報活用

## これからのIT

情報システム部やITベンダーのマネジメント層の方が対象です。ITの課題に対する最新技術による解決策や導入実績を相互に提供し合う、情報交換の場を提供していきます。また、豊富な経験を活かし、研究部会メンバーへの支援を行います。本研究グループは複数年参加を基本とし、研究や発表というスタイルを取りません。

情報活用

## 生成AIの新たな活用方法

近年生成AIが世界中で注目されており、ビジネスでの利用も広まってきています。いくつかの業種では成功事例も出ており、今後のさらなる活用に期待が持たれています。本研究グループでは、活用が進んでいない業種の企業が上手く利用するために考慮すべきことの洗い出しや、実際に生成AIの検証を行う活用方法を模索します。

情報活用

## BizDevOpsとデザイン思考

デザイン思考とは、デザイナーの思考プロセスを活用して課題解決を行うための思考法です。デザイン思考で作った構想を、BizDevOpsで開発から運用まで落とし込むためにはどのようなプロセスが必要となるか。本研究グループでは、BizDevOpsとデザイン思考について研究します。

情報活用

## XRを利用したマーケティングの可能性

XRとは、現実世界と仮想空間を融合することで、現実世界にはないものを体験することができる技術の総称です。本研究グループでは、ARやVR、MRなどをマーケティングに活用することができるかを模索・研究します。

情報活用

## 2025年の崖を見据えたアジャイル開発

レガシーシステムの残存によって発生する課題の対応によってDXが推進できないことによる経済損失を「2025年の崖」と呼びます。アジャイル開発によって、レガシーシステムの刷新をどのように促進できるか。本研究グループでは、2025年の崖を乗り越えるためのアジャイル開発について研究します。

情報活用

## 世代とダイバーシティ

現代では、デジタルネイティブであるZ世代、後天的にデジタルに触れてきたX世代、デジタルとともに成長したY世代と、それぞれ価値観や時代背景が異なる世代が共に働いています。本研究グループでは、様々な世代が、個人の特性を活かしつつ、共同して働くための理想の姿について議論、研究します。

情報活用

## 令和時代のUI/UX

我々が日々利用するデバイスは、PCやスマートフォン、タブレット、スマートウォッチなど、日々多様化しています。本研究グループでは、昨今のデバイスの変化に対応した最適なUIやUXについて研究します。

情報活用

## 今から始めるDX

DXと言われても何から始めれば良いかわからない、人材が不足して遂行できない、既存業務を変えられないなど、様々な悩みがあって着手できない企業も多くあります。本研究グループでは、こういった企業が現実的な範囲でDX事業の企画、提案、実行はどのようなべきかを研究します。

情報活用

## IT業界のカーボンニュートラルを考える

地球温暖化は世界規模で深刻なテーマとなっており、SDGsに組み込まれるなど、カーボンニュートラルは強い義務感を持って取り組むべきテーマとされています。工業や流通業など、CO<sub>2</sub>排出に関わりがある業界では高い関心を持たれているが、IT業界でも貢献できることはないのか、という点について研究します。

情報活用

## システム開発のスキル継承

スクラッチ開発からパッケージ開発、さらにはクラウドを活用したサービス開発まで、システム開発に求められる役割やスキルは何か。本研究グループでは、それらを今一度棚卸しし、これから来るIT人材不足の中、その継承や今後のあるべき姿について研究します。

システム運用

## 運用管理事例

参加者は、情報システム部やITベンダー、メーカーのマネジメント層の方を対象とします。IT課題に対する最新技術での解決策や様々な業態の導入事例、実績を相互に提供し合い、情報交換の場を提供していきます。本研究グループは、研究や発表というスタイルを取りません。

システム運用

## DX時代のSRE体制

昨今ではデジタルビジネスを支えるために、これまでの社内システムの運用とは異なるスピード感が求められます。その中でもGoogle社が提唱している「SRE」という言葉が注目度を浴びています。IT部門や事業部門、開発担当者・運用担当者も含めて、どのような体制・運用方法が望ましいかを研究します。

システム運用

## 目指すべき運用人材像とキャリアプラン

IT人材不足などが予見されている中、運用のアウトソーシングを行う企業が例年に比べ、増加傾向にあります。今後、社内システム運用は、アウトソーシングを行う企業が増加していくことが予測されますが、システム運用に関わる担当者はどのようなスキルやキャリアを策定していく必要があるかを研究します。

システム運用

## セキュリティを考慮して生成AIなどを活用するために最適な運用とは

※AI TRISMの活用方法

ChatGPTなどの技術が発展し、様々な業務で効率化が進んでいく可能性が高いと思われます。一方で、生成AIの活用は、セキュリティや情報漏洩リスクなども存在します。生成AIを有効的に活用するために運用としてどのようにセキュリティやリスクを考慮すべきか、またどのような運用が必要となるかを研究します。

システム運用

## 運用業務で利用するChatBotや生成AIの有効活用方法

IT人材が不足する中、よりシステム運用の自動化による効率化や省力化が求められてきます。運用組織が担う業務が変化していく中で、運用業務に最新技術のChatBotや生成AIをどのように適用すると有効性があるかを研究します。

システム運用

## メインフレーム人材のスキルシフト研究

富士通ホストの撤退が世の中をにぎわせる中、これまでメインフレームの運用を実施してきたメンバーをどのようなスキルシフトをさせるべきか・人材活用すべきかを研究します。

## 研究活動の流れ【主な活動とスケジュール】 予定は変更される可能性があります。

5月

## 春の全体会

研究活動のキックオフとして全国で春の全体会を開催します。全体に対してオリエンテーションを行ったあとは、グループごとに分かれて初回の会合を行います。これから1年間、一緒に研究活動を進めていくメンバー、コーディネータと初めての顔合わせです。自己紹介や今後の進め方などを決めていき、研究活動がスタートします。

	開催日	会場
東日本	2024年5月24日(金)	TKPガーデンシティ PREMIUM品川HEART
中部	2024年5月23日(木)	ウインクあいち
西日本	2024年5月29日(水)	TKPガーデンシティ 大阪リバーサイドホテル
九州	2024年5月28日(火)	西鉄情報システム株式会社様

7月

## 宿泊




日帰りや1泊2日での合同合宿を開催します。何にも邪魔されない環境で研究テーマの深掘りや議論に集中でき、メンバーとの親睦も深まりますのでぜひご参加ください。



### 注意事項

研究会の参加者は以下の参加条件を満たす必要があります。  
・UNIRITA ユーザ会員であること。

ユーザ会主催のイベントは対面開催となりますが、研究会活動についてはオンラインとなる場合があります。以下の条件もご確認ください。  
・カメラ、スピーカー、マイクが搭載されたPCもしくはタブレット端末を持っていること。  
・インターネット環境が整っていること。  
(会社から提供されているルーターや通信手段が使用できること)

対象  部門長  マネージャ  一般・若手・中堅

情報活用 情報活用研究会

システム運用 システム運用研究会

合同 合同研究会

情報活用・システム運用 情報活用・システム運用研究会

## 中部地区

### システム運用



#### システム部門の期待変化と今後の役割

多くの企業が最新テクノロジーの活用によるデジタルビジネスの検討・展開を進めております。デジタルビジネス・社内システムなど様々な領域でITが活用される中、企業の情報システム部門はどのような役割を今後担っていくべきかを研究します。

### システム運用



#### 運用引継ぎのDX対応(デジタル化)研究

運用業務の引継ぎは、長年にわたる運用組織の課題となっています。これまではアナログ(人・OJT・ドキュメント活用など)的な引継ぎ方法が多かったが、テクノロジーの発展とともに、新しいデジタル技術を活用し、最適かつ効率的な引継ぎ方法を研究します。

### システム運用



#### 運用現場からのカスタマーサクセス活動研究

「システム運用」から「サービス提供」に考え方がシフトしている中、高品質なサービスを提供していくための手法や体制を検討していく必要があります。社内の運用組織がシステム利用者に対して、考えるべき「カスタマーサクセス」とは何か、カスタマーサクセス活動を通して、運用組織がどのようなことに貢献するかを研究します。

### システム運用



#### ゼロトラスト実現に向けて運用組織が考えるべきこと

サイバーテロが世の中をにぎわせており、多くの企業が「ゼロトラスト」の取組を開始しております。ゼロトラストを実現するために様々な組織と連携し、また様々なツールを駆使して、環境を整える必要があります。本研究では、運用組織として、ゼロトラストの実現に向けて、考えておくべきこと・実現すべきことを研究します。

### 情報活用



#### 業務へのAI活用

近年、AIの技術はさまざまな分野で活用が進んでいます。AIを活用できれば業務効率化や生産性の向上、コスト削減などが実現可能です。一方でAI技術は幅広く使い方も多様であるため、AIをどのように活用していけば、業務に役立てていけるかを研究します。

### システム運用



#### 運用DXへの取り組み

システムのオープン化やクラウドの活用に伴い、運用部門ではコストや工数削減を図っています。一方で、サービス品質の向上や業務の属人化、アナログ作業などはまだ課題でもあります。このような課題を解決するための手法として、運用部門として今取り組むべきDXについて研究します。

## 西日本地区

### 合同



#### 業務変革とIT活用

参加者は情報システム部やITベンダーのマネジメント層の方が対象です。IT全般についての問題・課題や活用方法を情報交換しながら、解決策をディスカッションする会社を超えた情報交換の場になります。また、本年度はシンポジウムでパネルディスカッションを行います。

### 合同



#### AI TRISMを学び生成AIを正しく活用する方法

AI TRISM(=信頼性、リスク管理、セキュリティの枠組み)を用いて、生成AIの倫理的な使用方法に焦点を当てます。生成AIの社会への統合を促進し、また誤用によるリスクを最小限に抑えるためのガイドライン開発を目指します。AI技術の進化、法的規制、社会的受容性にも対応するための研究を行います。

### 合同



#### デジタル技術を利用した自動化システムの市民化

デジタル技術を用いた自動化システムが社会にもたらす影響を研究します。職場における自動化の可能性を、市民開発とその技術から探り、社会や産業構造への組み込みを検討します。また自動化技術のメリットの最大化を目指す研究を行い、市民化実現の為にリテラシー向上、すべての人々が利用できる開発推進を目指します。

### 合同



#### AI活用で業務ミスをなくすIT運用最適化の実現

AI技術の進化に伴い、IT運用の効率化と業務ミスの削減を目指し、新しいスタンダードの形成を研究します。特に、業務プロセスにおけるヒューマンエラー識別と自動リカバリを通じて、省力化の実現と共に運用の質向上を模索します。事例研究、プロセス改善、運用自動化のアルゴリズム開発が主な研究内容です。

### 合同



#### AI拡張型開発による次世代システム構築の新潮流

AI拡張型開発の研究を通じて、AIを用いた設計、プログラミング、コード生成、バグの検出と修正、開発作業の予測といった、具体的なタスクを支援する方法の研究を行います。開発者にとっては、AIでは難しく複雑で創造的な問題解決に集中できる環境の実現を目指します。

### 合同



#### アジャイル開発を活用したDXの加速と成果の最大化

DXにおけるアジャイル開発手法の適用とその成果の最大化を研究します。組織の柔軟性、市場への迅速な対応、および継続的なイノベーションを可能にするアジャイル手法の具体的な実装戦略について考え、これらの要素がDXの成功にどのように寄与するかを明らかにすることを目指します。

### 合同



#### コミュニケーションの深化がもたらす心理的安全性とチーム生産性への効果

組織内コミュニケーションの質の向上と、それがチームの心理的安全性及び生産性に与える影響を分析します。対話の技術、およびチームメンバー間の信頼関係の構築に重点を置きます。組織が人材の能力を最大限に引き出し、チームの生産性を高めるための研究を行ないます。

## 九州地区

### 情報活用・システム運用



#### 生成AIを活用した業務効率化

生成AIを用いることで、自動化や処理時間の短縮、サポート時間の拡張、意思決定の迅速化、多様なアイデアの生成など、従来の業務プロセスに革新をもたらすことが可能です。業務の効率化を目的として、生成AIを活用した業務改善や顧客エンゲージメント向上に関するアイデアを創出し、業務活用に向けた研究を行います。

9~10月

### グループリーダー会議

各グループのリーダーが集まり、研究活動の進捗を報告します。他グループのリーダーや代表・副代表と意見交換することにより、今後のグループ活動をよりよくしていきましょう。

12月

### 冬の全体会

春の全体会から7ヶ月、それぞれの地区の全グループが一堂に会します。各グループから研究活動の進捗報告、3月のシンポジウムに向けた発表講習などを実施し、研究活動のまとめに臨みましょう。また、全体会後の懇親会では、シンポジウムでの発表枠の抽選も行います。

1~2月

### 発表練習会

研究活動も大詰めとなり、シンポジウムに向けた発表練習会を行います。他グループや幹事・代表・副代表を前に発表練習を行い、フィードバックを得てさらに磨きをかけていきましょう。

3月

### シンポジウム

1年の活動の集大成!シンポジウムで研究発表を行います。有終の美を飾るのは一体どのグループでしょうか!?

# UNIRITA ユーザ会の主な活動内容

## ■ 研究部会活動

参加ユーザの自主的な運営で、地区ごとにテーマを設定しテーマごとの研究グループが1年間研究活動を行います。



## ■ ユーザシンポジウム

1年間のユーザ会活動の締めくくりとして、研究部会活動発表、ユーザ各社の事例発表の場として、「ユーザシンポジウム」を開催しています。



## ■ 情報交換活動

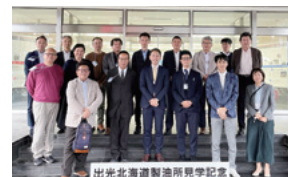
### 【ITゼミナール】

各地区の方を中心に、会員企業の階層ごとに最新技術情報のテーマを設定し、幅広い分野での意見交換・討議の場として開催しています。



### 【マネジメント研究会】

全国の部門長クラスの方々に対象に、マネジメントの立場から見た情報システムにまつわる最新的话题を幅広く取り上げ、情報交換を中心に開催しています。



## ■ <UNIRITA ユーザ会>2024年度年間スケジュール(2024年4月~2025年3月)

	2024年 4月	2024年 5月	2024年 6月	2024年 7月	2024年 8月	2024年 9月	2024年 10月	2024年 11月	2024年 12月	2025年 1月	2025年 2月	2025年 3月
幹事会・ 研究部会運営会議 等	運営会議 4/24(水)							運営会議 11/6(水)				
			幹事会 6/7(金)					幹事会 11/22(金)		幹事会 1/31(金)		
							意見交換会 10/11(金)					
東日本	情報活用研究部会			合宿 7/12(金)~ 7/13(土)								
	システム運用研究部会		春の全体会 5/24(金)		合宿 7/5(金)~ 7/6(土)				冬の全体会 12/6(金)			
	情活グループリーダ会議					9/11(水)						
	運用グループリーダ会議						10/2(水)					
中部	情報活用研究部会											
	システム運用研究部会		春の全体会 5/23(木)		合宿 7/19(金)~ 7/20(土)				冬の全体会 12/10(火)			ユーザ シンポジウム 3/6(木)~ 3/8(土)
	合同研究部会											
	合同グループリーダ会議						10/4(金)					
西日本	合同研究部会		春の全体会 5/29(水)		合宿 7/5(金)~ 7/6(土)				冬の全体会 12/13(金)			
	合同グループリーダ会議					9/12(木)						
九州	情報活用システム運用 研究部会		春の全体会 5/28(火)		合宿 7/5(金)~ 7/6(土)				冬の全体会 12/11(水)			
	グループリーダ会議					9/12(木)						

# 役員・代表の紹介

2024年度のUNIRITAユーザ会役員・代表の方々をご紹介します。

## 役員

会長

後藤 聖央

ソニー生命保険株式会社  
執行役員 IT デジタル戦略本部  
本部長 兼 同本部  
グループウェア開発部 統括部長



幹事

河村 優司

さくら情報システム株式会社  
常務執行役員  
業務ソリューション事業本部長



幹事

山口 公晃

京葉ガス株式会社  
CIS 再構築プロジェクト



幹事 (監査担当)

井上 勝

第一生命テッククロス株式会社  
M3Harbor 推進部長  
兼 Studio Xedge 部長



幹事

田中 久子

SOMPO システムズ株式会社  
常務執行役員  
IT サービス第一本部長



幹事

深沢 修

旭化成アマダス株式会社  
デジタルパートナー事業部  
コーポレート IT グループ グループ長



幹事

中俣 幸二

株式会社リコー  
デジタル戦略部 コーポレート IT  
統括センター IT インフラ統括室  
クラウド推進グループ



幹事

澤井 隆慶

出光興産株式会社  
デジタル・ICT 推進部 次長



幹事

廣瀬 真一

ANA システムズ株式会社  
上席執行役員



幹事

水野 泰宏

日東工業株式会社  
執行役員 DX 統括部長



会計幹事

野村 剛一

株式会社ユニリタ  
取締役 上席執行役員  
プロダクトサービス事業本部  
本部長



幹事

佐伯 寿雅子

株式会社ユニリタ  
営業本部 副本部長



## 東日本地区代表

情報活用研究部会代表

田中 豊久

株式会社匠 BusinessPlace  
代表取締役社長



## 中部地区代表

情報活用研究部会代表  
合同研究部会代表 (兼任)

山口 聡

株式会社タリヤ  
情報システム部 部長代理



## 西日本地区代表

合同研究部会代表

坂元 弘樹

株式会社シーエーシー  
インテグレーション統括本部  
産業ビジネス部



システム運用研究部会代表

寺門 美紀

MS&AD システムズ株式会社  
サーバ・クラウド基盤部  
アプリケーション連携システムグループ  
上級マネージャー



システム運用研究部会代表

杉本 浩彰

株式会社トヨタシステムズ  
ファイナンス IT 本部  
ファイナンス企画部 企画G 主幹



## 九州地区代表

九州情報活用システム  
運用研究部会代表

平山 幸夫

西鉄情報システム株式会社  
DXソリューション本部 人事・経理  
DXソリューション部 部長



## IT ゼミナール

代表

中俣 幸二 (兼任)

株式会社リコー  
デジタル戦略部 コーポレート IT  
統括センター IT インフラ統括室  
クラウド推進グループ



## マネジメント研究会

会長

澤井 隆慶 (兼任)

出光興産株式会社  
デジタル・ICT 推進部 次長



副会長

山口 公晃 (兼任)

京葉ガス株式会社  
CIS 再構築プロジェクト



# 2024年度 研究メンバ募集について

UNIRITA ユーザ会は、様々な業種、様々なIT環境のメンバが集まる人脈形成の場であり、また、他のユーザ会と異なる大きな特徴として、1年を通じた研究活動による技術力向上をテーマにした活動を中心としていることがあげられ、人材育成の場としても活用していただけます。

## UNIRITA ユーザ会では2024年度の 研究部会メンバを募集しております。

研究部会のキックオフとなる春の全体会は5月23日(木)より全国で順次開催いたします。研究メンバ同士の顔合わせの場となるだけでなく、1年間の研究内容の方向性が決定される場でもありますので、ぜひ、春の全体会からのご参加をお勧めいたします。



### 【 ご参加者・ご参加者上司の声 】

#### ご参加者の声

- 1年間他社の方々と共に研究することはめったにない機会なので自身の成長にも繋がりとて有意義な時間を過ごせました。ありがとうございました。
- 普段社内の仕事だけに集中していると得られないような、さまざまな視点・考え方があることがわかり、大変勉強になりました。
- 他の企業の方と同じテーマに向かって研究するという中々できない体験が新鮮かつ刺激的だった。詰め切れなかったことなど不満は残るが一年を通じた活動は非常に楽しく良い経験になった。

#### ご参加者上司の声

- いい経験になり、本人も満足している。継続したチームメンバとの交流もしているようで参加させた意義があった。
- 他社との交流を含め自分に自信を持つこと、視野を広めることができたのではと感じています。

### 【 お問い合わせ 】

#### UNIRITA ユーザ会事務局

E-Mail : [usergrp@unirita.co.jp](mailto:usergrp@unirita.co.jp)

TEL : 03-5463-6412

(受付時間：平日 9:30 ~ 17:00)

### 【 非会員の皆様へ 】

#### UNIRITA ユーザ会入会のご案内

ユニリタグループが提供するソフトウェア・プロダクトおよびサービスを利用している企業・団体様は随時入会できます。年会費は30,000円/社です。(事業年度1月~12月) ユーザ会が提供する活動での会費は基本的にはかかりません。入会の手続きに関しましては、ユーザ会ホームページをご確認いただくか、ユーザ会事務局までお問い合わせください。

お申し込み・詳細はユーザ会ホームページをご覧ください。  
2024年度の全国の研究テーマの詳細を公開しています。

▶「ユニリタユーザ会」で検索!  
<https://www.uniritauser.jp/>



#### 編集後記

#### 事務局より

#### 第40回 UNIRITA ユーザシンポジウム in ヒルトン福岡シーホーク

第39回に引き続き、第40回もヒルトン福岡シーホークにて開催いたしました。昨年は現地での参加人数に制限を設けたり、出展ブースを取り止めたりしましたが、今回はコロナ禍前と同じ内容に戻しましたので、活気に溢れた開催となり大いに盛り上がりました。また、40回という記念としているイベントを企画し、大変好評をいただきました。久しぶりに現地のみでの開催でしたので、至らぬ点もあったかと存じますが、皆様にご協力いただき、無事開催することができました。ありがとうございました。

さて、月日が経つのは早いもので、既に2024年度の研究メンバの募集がはじまっております。5月の春の全体会を皮切りに研究活動がはじまります。IT技術だけではなく、人材育成の場としても活用していただけますので、ぜひ自己成長のために研究活動にご参加してみませんか? また来年、皆さまに会えることを楽しみにしております。

